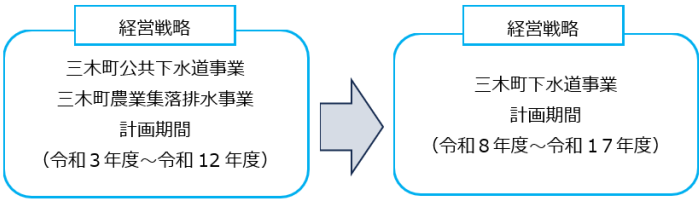


# 三木町 下水道事業経営戦略【概要版】

## 1. 改定の趣旨と概要

本町の下水道事業は農業集落排水事業が平成14年度に供用開始され、次いで公共下水道事業が平成29年度に供用開始されました。その後、特定環境保全公共下水道事業が令和3年度に供用開始され、現在に至ります。事業環境は、人件費の上昇や物価、エネルギーコストの増加が懸念されるなど、事業を取り巻く環境は大きな変化局面を迎えています。

こうした中、将来にわたり持続可能な経営に向けた取り組みを進めていくため、令和2年度に計画期間を令和3年度から令和12年度として、経営戦略を策定しました。そしてこの度、総務省の通知により、令和7年度までに現行の経営戦略を改定するよう要請があったため、改定するものです。



- 対象事業…三木町下水道事業
  - ・公共下水道
  - ・特定環境保全公共下水道
  - ・農業集落排水
- 計画期間…令和8年度～令和17年度
- 関連計画…三木町総合計画等

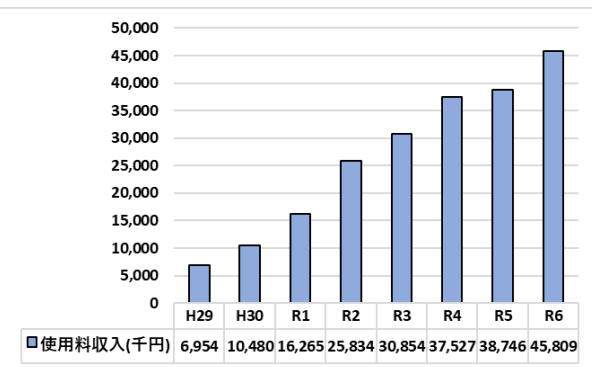
## 2. 下水道事業の現状

公共下水道における面整備及び水洗化率の上昇に伴って、使用料収入、経費回収率共に上昇傾向にあります。令和6年度における会計全体の各種経営指標は、経費回収率が48.1%であり、独立採算確保の基準である100%は下回っていることから、早急に改善する必要があります。

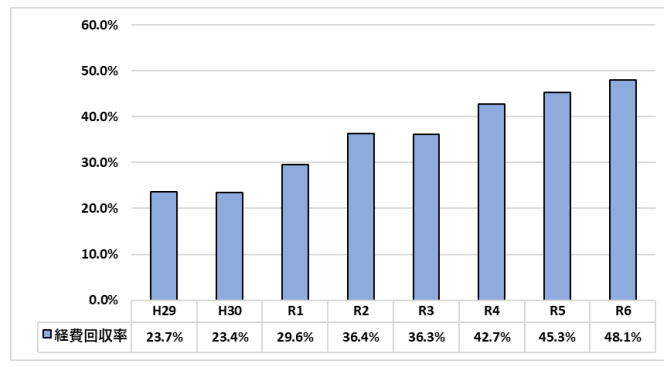
不採算の要因として、他団体と比較して、1㎡あたりの使用料単価が低いことが挙げられ、健全で持続的な経営を確保するためには、引き続き水洗化率の向上に向けた取組を実施するとともに、使用料改定を実施して経費回収率を上げる必要があります。

※水洗化率…下水道への接続率のこと。下水道区域内で下水道に排水している人口の割合。

### (1) 使用料収入の推移【増加傾向】



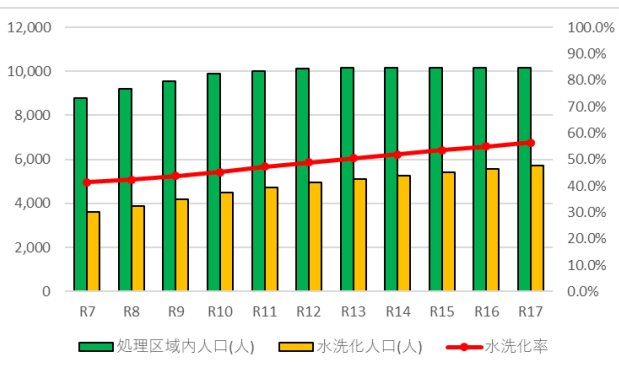
### (2) 経費回収率の推移【上昇傾向】



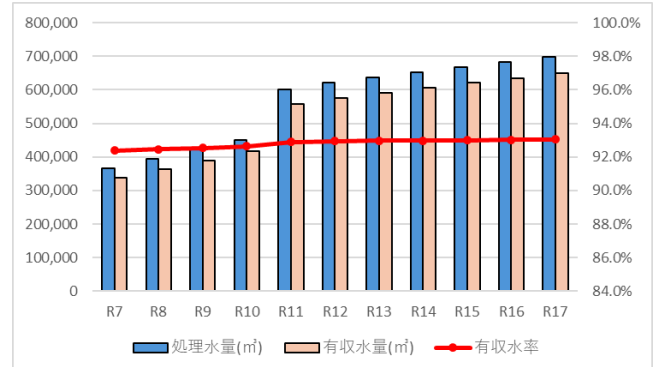
## 3. 将来の事業環境

水洗化人口については、面整備による処理区域内人口の増加や水洗化率の向上が見込まれるため、令和7年度から令和17年度にかけて、2,101人(+58.0%)増加することが予測されています。また、水量についても、香川大学医学部附属病院の新規接続や、人口に比例して増加することが見込まれています。

### (1) 将来人口推計【増加傾向】



### (2) 将来水量推計【増加傾向】



## 4. 経営の基本方針

事業の役割	基本方針
生活水準の向上に伴う生活排水等による河川汚濁を改善し、環境、水質を保全するため、下水道事業に取り組みます。	1. 下水道区域の未普及地域の早期解消 2. 投資の効率化 3. 経営基盤の強化

## 5. 投資・財政計画

将来における事業環境を鑑み、投資・財政計画を策定しました。経営の採算性を示す経費回収率は50%を下回っているため、同指標を改善することを目標とします。具体的には、公共下水道事業(特定環境公共下水道事業を含む)の経費回収率を80%とし、会計全体においては75%の確保を目指します。改善に向けた主な取組としては、他団体と比較しても低い水洗化率と使用料単価の改善を図ります。これにより、一般会計繰入金のうち企業債償還見合い以外の繰入金を減少させ、一般会計の負担を軽減するよう努めます。

### (1) 投資・財政計画

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
下水道使用料	48,770	49,701	53,248	74,062	98,814	102,215	104,936	107,504	143,116	146,353	149,471
他会計負担金											
営業収益計	48,786	49,711	53,258	74,072	98,824	102,225	104,946	107,514	143,126	146,363	149,481
管渠費	10,743	19,568	26,802	27,742	30,414	31,317	32,182	33,056	33,953	34,865	35,790
処理場費	76,641	76,683	79,390	82,235	90,509	93,233	95,842	98,473	101,177	103,922	106,709
総係費	28,465	16,460	16,817	29,755	30,589	37,451	32,341	33,261	34,211	35,194	42,329
減価償却費	372,191	371,962	381,479	394,015	406,998	425,881	444,422	461,914	464,535	450,659	453,255
営業費用計	488,050	484,673	504,489	533,747	558,511	587,882	604,786	626,703	633,876	624,639	638,083
営業利益	-439,264	-434,962	-451,230	-459,675	-459,687	-485,657	-499,840	-519,190	-490,751	-478,276	-488,602
他会計補助金	267,451	233,549	267,946	263,959	253,805	282,920	289,677	284,144	227,511	220,196	229,478
長期前受金戻入	244,778	260,534	246,274	261,302	273,538	274,298	284,484	310,955	336,096	329,950	328,895
雑収益	110	110	1,686	1,686	1,686	1,686	1,686	1,686	1,686	1,686	1,686
営業外収益計	512,339	494,194	515,905	526,946	529,029	558,904	575,847	596,785	565,293	551,831	560,058
支払利息等	45,289	49,557	53,365	56,977	59,687	62,491	65,154	65,750	64,322	62,670	61,005
雑支出	7,372	9,675	11,310	10,295	9,655	10,756	11,845	10,220	10,885	10,452	10,452
営業外費用計	52,661	59,231	64,675	67,271	69,342	73,247	76,007	77,595	74,542	73,556	71,456
経常利益	20,414	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当年度純利益	39,525	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
現預金残高(千円)	256,032	266,728	224,384	251,033	285,915	307,696	330,683	409,498	523,175	637,552	747,521
企業債残高(千円)	4,299,517	4,371,736	4,490,006	4,528,714	4,554,985	4,577,244	4,571,734	4,377,828	4,165,866	3,947,686	3,728,018
経費回収率	39.6%	40.6%	39.6%	49.4%	61.3%	59.2%	61.3%	60.9%	79.7%	79.2%	76.5%
使用料単価(円)	144.0	136.6	136.5	177.4	177.3	177.3	177.2	177.2	230.4	230.4	230.3
汚水処理原価(円)	363.8	336.3	344.4	359.4	289.1	299.6	289.2	291.2	289.0	291.0	300.9

### (2) 目標指標

指標名称	単位	R6 実績値	R12 目標値	R17 目標値
経常収支比率(全体)	%	100.0	100.0	100.0
経費回収率(全体)	%	48.0	58.0	75.0
経費回収率(公共・特環)	%	48.6	61.0	80.0
経費回収率(農集)	%	44.2	40.0	43.0
水洗化率(全体)	%	40.5	48.5	56.0
水洗化率(公共・特環)	%	37.7	47.0	55.0
水洗化率(農集)	%	83.2	83.2	83.2

### (3) 目標達成に向けた取組

- ✓ 水洗化率の向上
- ✓ 投資の平準化
- ✓ 使用料改定の検討
- ✓ 包括的民間委託の検討
- ✓ 汚泥等の活用
- ✓ 広域化・共同化・最適化

## 6. 事後検証・更新に関する事項

経営戦略推進のため、毎年度進捗管理(モニタリング)を実施します。

また、10年計画のうち5年目にあたる令和12年に経営戦略の見直し(ローリング)を実施します。

なお、モニタリングにあたっては、計画対実績の乖離を検証し、要因を分析するとともに、乖離幅が大きく計画達成が困難であると判明した際には、その時点で経営戦略の見直しを実施することとします。

